

番 号 : 130796

国 名 : エチオピア

担当部署 : 人間開発部基礎教育第二課

案件名 : 理数科教育改善プロジェクト (理数科教育/INSET 実施促進)

1 担当業務、格付等

(1) 担当業務 : 理数科教育/INSET実施促進

(2) 格 付 : 3号

(3) 業務の種類 : 専門家業務

2 契約予定期間等

(1) 全体期間 : 2013年9月中旬から2014年2月中旬まで

(2) 業務M/M : 国内0.50M/M、現地4.00M/M、合計4.50M/M

(3) 業務日数 :	準備期間	派遣期間	整理期間	M/M
	5	120	5	4.50

3 簡易プロポーザル提出部数、期限、場所

簡易プロポーザル : 正1部写4部

見積書 : 正1部写1部

提出期限 : 8月28日(12時まで)

提出場所 : 調達部受付 (JICA本部1F)

4 簡易プロポーザル評価項目及び配点

(1) 業務の実施方針

1) 業務方針の的確性 6

2) 業務方法の整合性、現実性等 12

3) 当該業務実施上のバックアップ体制 2

(2) 業務従事者の経験能力等

1) 類似業務^{注1)}の経験 40

2) 対象国又は同近隣地域若しくは同類似地域^{注2)}での業務経験 8

3) 語学力^{注3)} 16

4) その他 学位、資格等 16

(計100点)

注1) 類似業務 : 理数科教育に係る各種業務

注2) 対象国/類似地域 : エチオピア/全途上国

注3) 語学の種類 : 英語

5 条件等

(1) 参加資格のない社等 : 特になし

(2) 必要予防接種 :

黄熱 : 入国に際してイエローカード(黄熱病予防接種証明書)が必要です。

6 業務の背景

エチオピアは、1997年より累次の教育セクター開発プログラム (Education Sector Development Programme: ESDP) を策定し、教育のアクセスと質の改善に取り組んできた。アクセス面については、初等教育就学率の向上など一定の成果が見られるものの、質については、初等教育修了率や学習到達度試験結果の低迷が続いており、教育の質の改善は喫緊の課題である。

エチオピア政府は、教育の質改善に向けた取り組みとして、各国・国際機関の支援を受け「教育の質改善プログラム（General Education Quality Improvement Programme: GEQIP）」を2008年より実施している。GEQIPでは、教師教育強化を重点の一つと位置づけ、継続的職能開発（Continuous Professional Development: CPD）を行っているが、人材や教材など実施体制は十分でなく、また、研修内容は教科に特化したものではないことから、現職教員のニーズに即した研修実現には至っていない。

我が国は、1998年に開始された技術協力プロジェクト「ケニア国中等理数科教育強化計画（Strengthening of Mathematics and Science Education: SMASE）」以降、アフリカ域内にて理数科教育強化にかかる類似の協力を展開している。2001年には、アフリカ理数科教育域内連携ネットワーク（Strengthening of Mathematics and Science Education, Western, Eastern, Central and Southern Africa: SMASE-WECSA）が設立され、理数科教育強化、教員研修制度構築等に関する技術交流、研修などが実施されている。エチオピアは、2007年よりSMASE-WECSAの正式会員となり、理数科教育改善のために必要な支援を我が国に要請し、その要請を受け2011年3月から2014年7月までの予定で技術協力プロジェクト「理数科教育改善プロジェクト（National Pilot Project for Strengthening Mathematics and Science Education in Ethiopia: SMASEE）」を実施中である。

本プロジェクトの目的は、理数科教員の授業改善であり、プロジェクト目標としては、対象3州（アムハラ州、オロミア州、アディスアベバ特別市）における、初等第7-8学年理数科教員を対象とした現職教員研修（以下、INSET）システムのモデルの確立を掲げている。プロジェクト開始以降、これまでに、現職教員研修の実施運営組織の確立や、第一年次・第二年次の中央研修及び州研修（以下、SMASEE研修）の実施を通じた研修指導員の育成等に取り組んできた。また、研修の対象外地域への普及拡大に向けた基盤の構築も行っている。これに続き、今年度も2013年10月から12月にかけて第三年次の中央研修、州研修を実施予定である。各レベルの研修終了後には、研修評価結果を取り纏め研修報告書策定を行いつつ、研修効果の確認を行うとともに、2014年7月のプロジェクト終了に向けて、研修パッケージの最終化やINSETガイドラインの策定を行う予定である。

7 業務の内容

コンサルタントは、長期専門家2名（研修運営管理及び理数科教育）の協力と助言を得ながら、C/Pに対し第三年次研修の実施に関する技術支援を行い、モニタリング評価活動を支援する。なお、研修セッションでの技術指導の教科としては、主に数学と生物を担当する。また、モニタリング評価活動については、C/Pとともに第三年次の中央及び州研修に係る研修モニタリング結果を取りまとめ、分析、レポート作成を行い、研修実施結果から研修の成果、課題の分析を行う。さらに、同時期に別途派遣予定の短期専門家（研修成果普及／INSETガイドライン策定）と協力しながら、研修成果が実際の学校現場の授業改善に活用されるための方策を検討し、INSETガイドラインの添付資料となる3年間の研修パッケージの最終化に向けた検討を行う。

具体的な担当事項は次のとおり。

[理数科教育／INSET 実施促進]

(1) 国内準備期間（2013年9月中旬）

- 1) プロジェクト関係資料（実施協議報告書、実施運営総括表、月例報告書、研修教材等）を確認し、プロジェクトの内容及び進捗状況について把握する。特に過去2年間にプロジェクト活動として実施された中央研修、地方研修に関する資料や今年実施予定の研修プログラム計画を分析し、技術支援のための準備を行う。
- 2) SMASEE を含め、我が国がアフリカ域内で協力している理数科教育案件に関する

関連資料を収集・精読し、類似プロジェクトの研修カリキュラム・コンテンツについて把握する。

- 3) 担当教科にかかる旧・新シラバス、教員用指導書 (Teachers' guide)、教科書などの関連資料を精読し、当該教科の学習指導内容を把握する。
- 4) エチオピアの教員研修プログラム関連資料、理数科教育関連資料等を収集・分析し、エチオピアの教師教育および理数科教育の政策、現状及び課題について把握する。
- 5) ワークプランを作成し JICA 人間開発部へ提出し、説明する。

(2) 現地派遣期間 (2013 年 9 月下旬～2014 年 1 月下旬)

- 1) 現地業務開始時に、プロジェクト関係者及び JICA エチオピア事務所に対し、ワークプランを提出し、業務計画 (全体) の説明を行い、現地派遣期間中の業務工程、業務方針について詳細を確認する。
- 2) 他の専門家及び C/P と協力しながら、次の業務を行う。
 - ① 第三年次中央研修及び州研修の実施準備支援 (教科は主に数学と生物) として、研修セッション内容の最終確認、研修開催のための準備支援
 - ② 第三年次中央研修及び州研修の実施・運営の支援 (教科は主に数学と生物)
 - ③ 上記①、②を通じて、C/P に対して理数科教員研修の実施 (ファシリテーション、研修運営および研修成果のモニタリング評価とフィードバック等) にかかる技術指導を行う。具体的には、研修の教科別セッションにおいて、C/P のファシリテーションに対して、教科内容面を中心に技術指導を行うとともに必要に応じて、研修受講者に対する教科内容面の助言を行う。
 - ④ プロジェクトが実施する以下の研修モニタリング評価活動の実施に協力する。
 - 第三年次研修モニタリング評価レポート作成 (対象 2 州 1 市のうち、1 地域を担当)
 - 第三年次フォローアップ調査 (教室レベル研修効果確認を目的とした調査) 実施支援
- 3) 上記 2) で実施した業務での教材やプログラムへの提言を取りまとめ、C/P や教育省関係者に報告・共有する。
- 4) INSET ガイドラインの一部を構成する研修パッケージについて、全三年分の研修コンテンツの内容を精査するとともに、CPD モジュールとしての活用を視野に入れた研修パッケージの構成案及びその内容を検討し、取りまとめる。
- 5) 現地活動成果を取りまとめ現地業務結果報告書を作成し、C/P 機関及び JICA エチオピア事務所に提出、報告する。

(3) 帰国後整理期間 (2014 年 2 月上旬)

- 1) 専門家業務完了報告書を作成し、JICA 人間開発部に報告する。

8 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は (3) 専門家業務完了報告書とする。

- (1) ワークプラン (英文 3 部 : JICA 人間開発部、JICA エチオピア事務所、C/P 機関、和文 2 部 : JICA 人間開発部、JICA エチオピア事務所)
現地派遣期間中に実施する業務内容を関係者と共有するために作成。業務の具体的内容 (案) などを記載。
- (2) 研修モニタリング評価レポート作成 (第 3 年次中央研修報告書、第 3 年次州研修報告書、第 3 年次フォローアップ調査報告書) ((英文 3 部 : JICA 人間開発部、JICA エチオピア事務所、C/P 機関)

- (3) SMASEE 研修パッケージ (3 年分)・モジュール案 (英文 3 部 (JICA 人間開発部、JICA エチオピア事務所、C/P 機関))
- (4) 専門家業務完了報告書 (英文 3 部 : JICA 人間開発部、JICA エチオピア事務所、C/P 機関、和文 2 部 : JICA 人間開発部、JICA エチオピア事務所)
記載項目は以下のとおり。
 - 1) 業務の具体的内容
 - 2) 業務の達成状況
 - 3) 業務実施上遭遇した課題とその対処
 - 4) プロジェクト実施上での残された課題 (各種研修教材の作成にかかわるもの)
 - 5) その他体裁は簡易製本とし、電子データを併せて提出することとする。

9 見積書作成に係る留意点

本公示にかかる見積書の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成の手引き」

(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>) を参照願います。

留意点は以下のとおり。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等
航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みませ (見積書に計上して下さい)。

10 特記事項

- (1) 業務日程／執務環境

- 1) 現地業務日程

現地派遣期間は2013年9月下旬～2014年1月下旬を予定しています。

- 2) 現地での業務体制

本業務に係る現地プロジェクトチームの構成は、以下のとおりです (本業務の現地作業期間に派遣されている専門家のみ記載しています)。

- ・ 研修運営管理 (長期派遣専門家)
- ・ 理数科教育 (長期派遣専門家)
- ・ 研修成果普及／INSETガイドライン策定 (短期専門家)

- 3) 便宜供与内容

プロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

- ① 空港送迎

なし

- ② 宿舎手配

なし (宿舎リストの提供は可能)

- ③ 車両借上げ

プロジェクト活動に必要な移動に係る車両の提供 (市外地域への移動を含む。)

- ④ 通訳傭上

なし

- ⑤ 現地日程のアレンジ

プロジェクトチームが必要に応じアレンジします。

- ⑥ 執務スペースの提供

教育省内プロジェクトオフィスにおける執務スペース提供

- (2) 業務実施上の留意点

以下の業務経験を有することが望ましいと考えます。

- 1) 数学及び理科（生物）教育の知識
- 2) 研修教材開発にかかる専門知識・経験
- 3) 教員研修にかかる経験
- (3) プロポーザル提案事項
業務工程表をプロポーザルにて提案すること。
- (4) 参考資料
本業務に関する以下の資料が当機構図書館のウェブサイトで公開されています。
 - ・プロジェクト概要 (<http://www.jica.go.jp/project/ethiopia/003/index.html>)
 - ・プロジェクト基本情報（ナレッジサイトトップ>プロジェクト情報>スキーム別&国別一覧>プロジェクト基本情報）
- (5) その他
業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます（冒頭留意事項参照）。

以 上